

あなたと議会を結ぶ情報誌

# 議会だより

 はこね

平成31年2月  
No.195

## 主な内容

- 12月定例会 審議結果等…………… P 2～3
- 行財政改革調査特別委員会…………… P 4～5
- 一般質問…………… P 6～9
- 小学校6年生議会傍聴…………… P 10
- 委員会報告…………… P 11

### 専決処分

- 専決処分の承認を求めることについて … 承認  
 (平成30年度箱根町一般会計補正予算(専決第1号)  
 姉妹都市である洞爺湖町応援ツアーに関する費用  
 補正額 535万5,000円追加 ⇒ **補正後の総額 115億3,117万2,000円**

### 条例制定

- 学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について … 可決

### 条例改正

- 箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について … 可決  
 P 4～5で詳しく掲載しています。
- 森のふれあい館条例等の一部を改正する条例の制定について … 可決  
 年間を通じて町民の方は無料となっていました。今年10月1日より、期間を限定した町民無料の日が設けられ、それ以外の日は有料となります。  
 また対象は観光施設(森のふれあい館のほか、湿生花園、箱根ジオミュージアム、郷土資料館、箱根関所)が対象です。
- 箱根町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について … 可決
- 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について … 可決
- 箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について … 可決
- 箱根町宮ノ下浄化槽条例の一部を改正する条例の制定について … 可決  
 当浄化槽の使用料は、使用者の利便性の向上を図るため、町内に店舗がある指定の金融機関及びゆうちょ銀行で口座振替が可能となるものです。また郵便局窓口での現金納付も可能となります。

### 補正予算

- 平成30年度箱根町一般会計補正予算(第3号) 可決**  
 補正額 4億693万7,000円追加 ⇒ **補正後の総額 119億3,810万9,000円**

#### 内 訳(抜粋)

- ・森林病虫害防除対策事業 … 90万6,000円
- ・公衆トイレ整備事業 … 141万6,000円
- ・箱根関所設置400年記念事業 … 150万円

- 平成30年度箱根町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 可決**  
 補正額 140万円追加 ⇒ **補正後の総額 15億7,849万6,000円**

### 工事請負契約

- 工事請負契約の締結について … 可決  
 ㊦ 防災行政無線整備事業 防災行政無線デジタル化工事  
 現在のアナログ防災無線は30年以上使用し、機器の老朽化が顕著であり、電波法の改正から今後使用ができなくなるため、無線設備の更新を実施するものです。  
 平成30年11月16日に見積もり合わせを行い、パナソニック建設技術研究所共同企業体が落札し、契約金額は5億8,703万4,000円です。(この金額は平成30年度から32年度までの、3カ年の継続費です。)

# 12月定例会

## 会期

12月4日から  
14日まで

専決処分  
**1件**

条例制定  
**1件**

条例改正  
**6件**

補正予算  
**2件**

工事請負契約  
**1件**

町道路線の変更  
**1件**

事務委託協議  
**1件**

意見書  
**1件**

請願  
**1件**

**町 道**

○町道路線の変更 … 可決

**事務委託協議**

○小田原市斎場に係る事務の委託に関する協議について … 可決

同市の斎場は供用開始から40年以上が経過し、老朽化が著しく、現在建替え工事が行われており、平成31年7月1日の供用開始を目指し、事業が推進されています。

新斎場建設に向け、さまざまな事項や、管理運営について、2市5町\*で構成する小田原市斎場事務広域化協議会において協議決定されてきました。この協議会は、供用開始予定の平成31年度に解散し、その後は小田原市に維持管理運営業務が委託されるものです。

※(小田原市、南足柄市、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町)

**意見書**

○ライドシェア導入の慎重な検討及び白タク行為への更なる対策強化を求める意見書の提出について … 可決

外国人旅行者等を無許可車両（通称：白タク）により有料送迎する事例が多発していることから、道路運送法違反であるため、議会提案により、対策強化の意見書を提出しました。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、国土交通大臣、国家公安委員会委員長

**請 願**

○新日本婦人の会より提出された「消費税10%引き上げ中止を求める意見書」を国に提出する請願書について … 不採択

**委員長報告**

総務企画観光常任委員会に付託され12月6日委員会を開催。教育福祉等社会保障の財源を確保するためには、広く公平に負担が必要。政府においても影響を及ぼさぬよう施策を講じていることから、引き上げはやむを得ない。

委員全員に意見を求め、全会一致で不採択と決定した。

**請願書採択に賛成(1名)**

所得の低い人ほど負担の重い逆進性の税金であり、住民の暮らし地域経済に打撃を与える。富裕層や大企業に能力に応じた課税を求めるべきであること等から、請願書に賛成する。

**請願書採択に反対(12名)**

委員長報告のとおり、社会保障財源等ひっ迫している。教育、福祉、医療等広く公平な負担が必要である。また、国は軽減税率の適用等、国民の食生活にも考慮している。地域経済においては消費税の内30%以上地方交付するなど、あらゆる施策を講じている。このような観点から引き上げはやむを得ず請願書に反対する。

**議員別議案賛否一覧** (賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	勝俣公好	勝俣泰彦	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	村野由紀子	川端祥介	山田成宣	稲葉親太郎	遠藤秀則	石川栄	折橋尚道	沖津弘幸
51	箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	専決処分の承認を求めることについて	承認	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	森のふれあい館条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1	「消費税10%への引き上げ中止を求める意見書」を国に提出することを求める請願書	不採択	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※2 ○：賛 ×：反対 -：議長は採決に参加しません。

# 行財政改革調査特別委員会

箱根町議会は、平成29年12月より行財政改革調査特別委員会を組織して、箱根町の財政状況と行政運営に関して、あらゆる角度から検証を進めてまいりました。平成30年9月議会にて、町長提案の「議案第51号、箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定」について、9月議会では審議不十分として当特別委員会に付託されたものでした。特別委員会では、多くの時間を使い審査してまいりましたが、次年度予算等の関係上、12月議会初日までに本議案に関しての結論が必要となり、固定資産税超過課税1.58%を当面の間継続することの必要性を認めたものです。

委員長 折橋 尚道



## 行財政改革調査特別委員会開催実績

- 議員全員を招集する特別委員会は  
9月14日、25日、10月5日、23日、11月15日、19日の計6日間開催。
- 特別委員会の運営等の役割を担う幹事会は  
9月5日、18日、25日、10月5日の計4日間開催
- 収入増・行政の組織改革・支出の抑制等を検討する各分科会は  
8月31日から11月15日までの間、延べ14日間開催

29年決算書に基づく起債残高では、一般会計で約61億円、下水道事業で約60億円、水道事業会計で約16億円となり、合計で約137億円の起債を抱え、町民1人当たり約120万円の借金となる。経常収支比率は95.5%となり、事業に充てる予算は目減りする一方であり、財政の硬直化は顕著となり、改善する兆しがない。

今後、民生費、衛生費の増加、公共施設や上下水道、道路などの、公共施設・事業等の支出の増大で、収入と支出のバランスは、更に悪化する。固定資産税超過課税に代わる新たな税収や使用料などの受益者負担増を検討してきたが、低所得者の生活悪化を増大させるものであり、行うべきではない。

また、大規模災害などの緊急の拠出資金として、準備している財政調整基金は予定通りに積み立てを継続するべきものと判断する。

## 至誠会 賛成討論

(抜粋)



## 公明党 賛成討論

(抜粋)



今までは、財政健全化のため、財政再建プランを策定するとともに、臨時財政対策債や退職手当債を活用するなど、また、遊休未利用地の処分、売却も積極的に行ってきた。今後も続くであろう固定資産の評価減や人口減少による個人町民税の減少、社会保障である福祉、医療、介護などの増高により、財政が極端に逼迫したのが、主とした理由からと慮される。

町は、都市計画税を課税しておらず、今回の固定資産税超過課税はまさに都市計画税の代替財源との認識を持っている。近隣で都市計画税を課税している市・町の固定資産税に単純にプラスして計算すると、小田原市は1.58、湯河原町は1.64、葉山町1.72となり、本町が当分の間、都市計画税を課税せず、超過課税を行うことは理解できる。今後も行財政改革を間断なく図り次世代のことを考え、負担と給付のあり方を進め、補助やサービスのあり方の見直しを望む。

## 行財政改革調査特別委員会委員長報告 (12月4日議会初日)

付託された議案第51号は、長期にわたり町民の生活に直接影響する議案であることから、例にない特別委員会運営の実施をするなど、多くの時間を費やし、議員一人一人が責任をもってその任にあたり、本議案に対する検討を重ねてきた。

結論として、中長期財政見通しと行財政改革アクションプランなどの検証も含めた結果、行財政改革を進めても、中長期的に多額の財源不足が見込まれ、今後の町政運営や各種施策の推進など住民生活だけでなく観光客の受入にも重大な支障を来すことから、平成31年度以降も固定資産税の税率を1.58とし、当分の間継続するとした。議案第51号に対し、採決を行った結果、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

なお、付記する内容としては、行財政改革アクションプランの着実な遂行に取り組むこと、平成36年度以降の財源不足増に対し、新たな税収確保策の検討と実施にあたっては、方針等を町民や関係諸団体へ慎重に説明を行うこと。

また、使用料など受益者負担の在り方を検証し、更なる見直しを試みること。

売却可能な町有財産の処分、文教施設も含めたあらゆる公共施設の再編と効率的な運営の見直しを行うこと。次期機構改革の際には、より効率性を高め、合理的で機能性のある組織への再編を望む。

附則第30項において、5年ごとに施行の状況を検討し、その結果に基づいて所要の措置を講ずるものとしているので、基本的財政運営に関する課題は、機会あるごとに議会に説明することはもちろんのこと、町民にもわかりやすく周知することを必ず実施する。

また、議会としても、町の行財政状況を積極的に把握するとともに、安定した行財政運営について引き続き調査研究を行うため、この行財政改革調査特別委員会を存続させ、必要に応じて町職員の出席を求めなど、町民の声を反映させ、適切な行政サービスを求めていくこととした。(抜粋)



### 緑風クラブ 賛成討論

(抜粋)



議案の当分の間という期間については、期限を明確にしたほうがよいと思見もあった。こうした経緯を得た中で、今回の議案は、町の安定した行財政運営には欠かせないと判断し賛成とした。今後5年間の間で、歳入歳出さらに、宿泊税、入湯税、観光税等を十分検討することでありますので、その検討での経過や検証を町民、事業者、議会等に十分説明し、情報の共有を図り、今後の行財政運営には、これまで以上の努力を要望する。

#### ※討論とは

議会の大切な仕事は、議案の審議です。町長が提案した議案の質問・審議を行い、その後議員が賛成反対の意思を表明するものが討論です。

賛否の理由を述べることにより、次に行われる採決に、自分の意見に同調することを他の議員に求めるものなのです。

### 日本共産党 反対討論

(抜粋)



介護保険料などの社会保障費の負担増とあわせ、年金額の引き下げで可処分所得も減っており、これ以上の負担増は生活をさらに追い詰めることになる。定住化についても、固定資産税を比較すれば高いところ低いところ平均的なところ、高いところを選ぶ人は少ないのではないかと。

とりあえず、来年度の予算編成においては、財政調整基金を取り崩し、不足している5億円を取り崩して充て、1年間かけてしっかりとこの財源問題に取り組むべきではないかと。

そして、国際観光ホテル整備法2、500万円の不均一課税を直ちにやめて税収とする。年間2,000万人の観光客に対して、観光環境税というべき課税をして、自然を保護し、そしてごみ処理や公共下水道の負担軽減のために、取り上げるべきではないかと。

12月定例会では、町政全般へ6人の議員が12項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものとなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
勝俣 公好	・台風・地震等自然災害について	6
村野由紀子	・箱根町の健康対策等について ・誰もが読書を楽しめる環境づくりについて	7
川端 祥介	・箱根町幹部職員の不祥事の経緯と対応等、再発防止について ・箱根町を訪れる外国人観光客の災害対応について	
石川 栄	・地震等による脆弱な地盤を考慮した防災対策について ・学校プールの跡地利用計画等について	8
山田 成宣	・凍雪害の対応について ・関所400年祭について	
山田 和江	・セクハラ対策について ・国保における子育て支援対策について ・本庁舎の急坂対策にエレベーターの設置を	9

※ **Q**は議員の質問、**A**は町側の回答です。



## 台風、地震等自然災害について

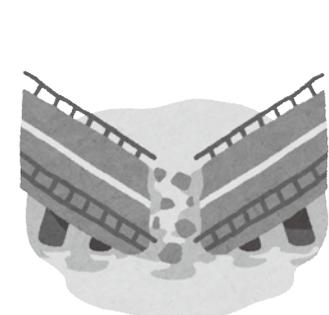
町 — 建設会社以外で重機を所有している業者に災害に出動してもらう提携を検討していく

**A** 万一、大規模な災害が発生した場合、町内の事業所のご協力を得て、道路の回復や倒壊建物の撤去作業等に従事していただき、早期に復旧を図ることは非常に大切である。地域の自治会等と連

**Q** 各地域が分断された場合、一刻も早い道路等の復旧をしなければならず、各地域の建設会社所有の重機が不足することが想定されるため、建設会社以外で重機を所有している業者等に、災害時に出動してもらう提携をしたらどうか。

**A** 町では、緊急時におけるヘリコプターの発着場所、町内30ヶ所を指定し、ゴルフ場は4施設、自主防災組織の避難場所として2施設と提携している。

**Q** 町にはゴルフ場が多くあり、ゴルフ場内に緊急臨時ヘリポート、観光客等避難所開設の提携をしたらどうか。



**A** 県内では4自治体が運用している。防災情報が的確に伝わる方法を調査・研究する。

**Q** 台風、大雨の時に防災行政無線が聞こえずらく、情報が伝わらない。携帯電話を持たない高齢者も多く、防災メールだけでは不十分なことから、ポケベルを導入する自治体が増えていると聞かれます。検討してはどうか。

**A** 携を回り、地域住民の生活道路等の回復をお願いするなど、自主防災組織の体制の中で役割分担を位置付けるなどの方法が考えられる。地域の防災力強化を図るため、調査・研究をする。



勝俣 公好 議員

# 風疹について

## 町 — 抗体検査や予防接種に関する情報提供を行う



村野由紀子 議員

**Q** 急性の発疹性感染症は風疹への免疫がない集団において、1人の風疹患者から5〜7人にうつす強い感染力を有する。7月下旬頃から関東地方を中心に患者数が増加している。町の現状と対応について伺う。

**A** 平成30年4月〜11月現在で町民の風疹患者はいない。小児は定期接種、生後12〜24カ月までに1回、小学校就学前に1回接種している。大人は任意接種、平成7年4月1日以前に生まれた方で、妊娠を予定または希望されている女性やそのパートナーを対象に予防接種費用の一部助成を行っている。また、県でもその対象者に抗体検査を無料で行っている。接種件数は、前年の2倍以上のペースで伸びている。



**Q** 30代〜50代男性の抗体保有者が少ない状況から、今後も周期的に流行が想定される。予防接種の費用の一部助成を行っていくべきと思う。考えを伺う。

**A** 風疹で最も怖い点は、妊娠初期の女性がかかること、生まれてくる赤ちゃんが「先天性風疹症候群」に罹る可能性がある。現時点では接種対象者を拡大する考えはない。保健だよりや広報等により抗体検査や予防接種に関する情報提供を引き続き行う。また、今後の国の動向を注視していく。

# 職員の不祥事対応／外国人観光客の災害対策について

## 町 — 再発防止研修の徹底／通訳・防災士についても検討をしていく



川端 祥介 議員

**Q** 町の幹部職員が、ハラスメント行為や、神奈川県迷惑防止条例違反(盗撮)の疑いで、逮捕されるというような不祥事が連続して起きている。

**A** このような職員の事件について、再発防止対策について伺う。

**A** 去る10月30・31日には、幹部職員対象の「ハラスメント予防研修会」を行い、11月14日には、「不祥事予防研修会」を行った。

また、12月18日には、高い倫理観の定着を図ることを目的に、公務員倫理合同研修会を予定している。あらゆる機会をとらえて、職員の意識改革に努めていく。

**Q** 外国人観光客に対する災害対応については、外国語を話す通訳を兼ね備えた通訳防災士への、将来の養成が必要と感ぜられるが、町としてはどのように対応しているのか。

**A** 町としてはこれからも外国人観光客に対する災害対応について、通訳を兼ねた防災士の養成も検討していきたい。



# 地震等による軟弱地盤を考慮した防災対策について

町 — 当町は液状化地域対象外だが、軟弱地盤の存在は認識している



石川 栄 議員

**Q** 地震の際、液状化現象が起きるような地域の把握状況と、防災マップ等に軟弱地域の掲載を考えられないか。

**A** 県地震被害想定調査報告書では、仙石原地域は液状化対象外となっているが、軟弱地域が存在することは認識している。

今後ハザードマップの更新に合わせ、指摘された内容の掲載についても検討していきたい。

**Q** 軟弱地域に居住する住民の迅速な避難対策を講じているか。

**A** 高齢者と、自力で災害を乗り越えることが困難な方に対し、自主防災組織等の地域コミュニティで力を合わせ助け合う、共助の考え方に基つき、自治会等を中心に助け合いの体制整備を、お願いしている。

**Q** 仙石原地域の1/2以上が軟弱地盤といわれ、

大地震の際は家屋倒壊や道路の浮き上がり、陥没する場所が発生すると思われる。現在大涌谷火山も沈静化、台風・地震の大きな災害、被害も少なく裏を返せば「喉元過ぎれば熱さを忘れる」防災意識の低下に繋がるのではと危惧している。

自主防災組織も役員の高齢化で若干活動が低下しており、発生時対応に不安があるが、町の考えは。

**A** 人口減少も進み、助ける人、助けられる人の均衡が崩れ始めており、樂觀できない。対処方法として、現在「防災土」養成研修に着手し、地域の防災力強化整備を計っている。防災マップについても住民が気軽に活用できるような見直しを考えている。



# 箱根関所400年祭の記念行事は？

町 — 5月26日に大名行列を実施



山田 成宣 議員

**Q** 箱根の関所が現在の場所に設置され、来年で400年という節目の年、400年記念行事の具体的なイベント計画はあるのか。

**A** イベントのメインとしては箱根大名行列の挙行を計画している。大名行列は箱根神社を午前10時にスタートし、元箱根地内の芦ノ湖畔苑地で「奴振りの演技」、旧箱根小学校で昼食後、杉並木内、箱根関所の江戸口付近、関所通り商店街、箱根地内の苑地等でそれぞれ演技を行い、観光船箱根町港付近の苑地で午後2時半頃終了とする計画である。

なお、この行列には箱根町親善大使の演歌歌手、八代亜紀さんにも参加いただき、要職を担ってもらおうよう調整を図っている。開催の日時としては、2019年5月26日(日)を予定している。

**Q** これらイベントの周知については、いづろるか

らどのような手段で行う予定なのか。

**A** 広報手段としては、ポスター・チラシなど紙媒体と400年記念行事特設ホームページの構築・発信を計画している。1月下旬を目途に、ホームページのアップデートと、同時にプレスリリースを行う予定。

最後に、この400年記念行事は一過性のものとはせず、地域一体での活動を継続発展することで、地域活性化の一助とすることを念頭に本事業を展開していく所存である。



# 国保でも子どもの均等割をなくして子育て支援を!

町 — 県内で18歳未満の人数を除いている自治体がないので、今のところ実施は考えていない



山田 和江 議員

**Q** 当町の国保の保険料は、応能割55、応益割45の割合で算定され、応益割には世帯平等割と、世帯員の数に応じてかかる均等割がある。特に均等割は人間の頭数に応じて課税する人頭税と同じで生まれたばかりの赤ちゃんにも課せられ、子どもの数が多いほど保険料が引き上がり、重い負担となっている。このことは子育て支援に逆行しており、全国の自治体の中にはこの負担をなくして子育て支援を行っているところもある。当町でも国保において18歳未満の均等割をなくし子育て支援の充実を求める。

**A** 本算定時の18歳未満は208人。この均等割をなくすと他の加入者が2,500円の負担増となる。

**Q** 均等割の料率に208人かけると588万円になる。一般会計からの繰り入れや約2億円の基金から補填は出来ないか。

	医療分	支援分
所得割	6.69%	1.95%
<b>均等割</b>	<b>21,910円</b>	<b>6,390円</b>
平等割	24,500円	7,150円

国民健康保険料の算定では、子どもでも、人数に応じてそれぞれの均等割が保険料に足される

**A** 一般会計からの繰り入れは計画的段階的解消が求められており、基金は予測の事態に備え積み立てている。県内で18歳未満の人数を除いている自治体がないので、今のところ実施は考えていない。

**Q** セクハラ対策について 当町では幹部職員によるセクハラや女性に対する盗撮が立て続けに発生し、住民から驚きの声が上がっている。セクハラは重大な人権侵害行為であり絶対に認められない。セクハラ根絶のため、町独自のセクハラ指針をつくるべき。

**A** ハラスメント防止の徹底のため指針の策定を検討する。

## 議会だよりモニターを募集します!

～一緒に議会だよりを作りましょう～

議会活動をお知らせする「議会だよりはこね」の内容の充実・改善を図るため、議会だよりモニターを募集します。ご応募お待ちしております!

◆職務内容

- 1 発行された議会だよりに関し、意見や提案等を述べる
- 2 地域の情報等を提供すること
- 3 アンケート調査等に回答すること

◆応募資格

- 1 満18歳以上で、町内にお住まいの方
- 2 議会活動に深い関心を持ち、かつ公正な社会見識を有する方
- 3 町職員ではない方

◆募集人数 5人以内

◆任期 2019年4月1日から2021年3月31日までの2年間

◆応募方法 議会事務局までご応募ください。(Tel 85-9570、Fax 85-8656)

◆選考方法

町民皆さま全体の意向を代表する構成となるよう、年齢や性別、地域等を考慮し、議長及び委員会において選考を行います。

# 小学校6年生・地方自治学習



4年目となる町内小学校6年生の「地方自治学習・議会見学」が、12月議会開催中の11日に実施されました。真剣な様子で議会傍聴に臨んでいました。  
(議会改革等推進特別委員会 副委員長 折橋尚道)



仙石原小学校

● 役場に到着 玄関前でご挨拶 ●



箱根の森小学校



湯本小学校



仙石原小学校

湯本・箱根の森・仙石原各学校での議会傍聴に向けた事前学習の様子

● 食堂で見学前のオリエンテーション ●



箱根の森小学校

● 議員控室でひとやすみ ●



湯本小学校

## 傍聴に来てくれた6年生の感想

**湯本小学校**.....  
 ☆議会は箱根町のことをいろいろ話していて大変だなと思ったけど、議会のおかげでみんな安全にすごしていただけるからすごいと思いました。これからも箱根町のためにがんばってください。  
 ☆少ししか見学できなかったけど、防災や学校のことを話し合っていて、町民のことを本当に思ってくれているんだなと思いが嬉しかったです。

**仙石原小学校**.....  
 ☆箱根町をより良くするためにやっている事がわかりました。一回でもいいので自分も議会に参加してみたいなと思いました。  
 ☆箱根町に住んでいる私たちのことを考えながら会議をしているという事は初めて知ったので、おどろきました。私たちがいつもあたりまえのように幸せに暮らせるのは会議をしている人たちのおかげだと気づけて良かったです。

**恵明学園**.....  
 ☆「実際に見るって大切なことなんだ」と思いました。

**箱根の森小学校**.....  
 ☆話していた人たちがとてもしげんに話をしていたので、かっこ良かったです。自分も大人になったら、しっかり仕事ができるようになりたいし、学校生活でも授業でもしっかり先生の話聞くようにします。  
 ☆私達の知らないところで、とても身近なことを話し合っているというのを知れて良い経験となりました。



箱根の森小学校

● 本議会傍聴 一般質問の真っ最中 ●



湯本小学校

● ぼくらは議場で勉強中 ●

## 総務企画観光常任委員会 報告

町消防本部にて、普通救命講習を11月5日に議会議員全員を対象とし、受講しました。

3年前に受けて以来、議会では2度目の講習でしたが、救命技能を忘れることなく、維持向上を計るため、2～3年間隔で、定期的にこの講習を受けることが望ましい事から、今回の実施となりました。

負傷者の発見 → 救命作業の安全の確保 → 負傷者の反応の確認 → 119番へ通報と救命活動の協力者の確保



→ 呼吸の確認 → 胸骨圧迫 → 人工呼吸 → AEDの使用といった流れを実物大の人形等を用いて実践的な訓練のほか、救急救命士のわかりやすく的確な説明等をいただき、2時間半という短い時間でしたが、貴重な講習会でした。

当委員会としては、今後とも、消防行政を所管していることから、受講した事柄を常に念頭におきながら、救命講習の大切さを広く伝える必要性を強く感じました。

委員長 山田 成宣



## 教育福祉環境常任委員会 報告

11月19日に委員会を開催し、今後の取組みについて協議を行いました。

中学校の長寿命化改良工事も順調に進んでいることから、1月25日に進捗状況の確認のため、現地視察を行い、併せて、社会教育センター蔵書室や芦之湯凍雪害対策基地、環境センターにおける剪定枝チップ化について現地視察を行うことといたしました。

その他にも、各委員より、介護施設の視察希望もありましたことから、視察の目的を明確にし、順次実施していくこととしました。



委員長 遠藤 秀則

## 議会改革等推進特別委員会 報告



10月15日、寒川町のタブレット端末導入と運用について視察し、実際の端末を操作しながら、活用状況などの説明を受けました。その後、導入に至る経緯や、体制、コスト削減、経費と選定等について伺いました。「ペーパーレス会議により、全議員への年間配付資料約10万枚の削減ができる見込みである。」「会議準備には資料の印刷と配付、差し替えなど多くの手間と時間を要していたが、それが不要となった。」等の効果を聞き、とても分かりやすく参考になりました。

今後は、全議員を対象にタブレット端末の勉強会を開き、課題等について解決しながら推進して参りたいと思っています。

委員長 村野 由紀子

# 洞爺湖町 応援ツアー

昨年12月18～20日迄の3日間、北海道胆振東部地震の影響により風評被害等で苦戦している当町の姉妹都市の洞爺湖町を励ますために山口町長を団長とする総勢108名が洞爺湖町を訪問しました。行く先々で歓迎を受け、あたたかいおもてなしも合わせて嬉しかったです。 稲葉 親太郎

姉妹都市 箱根町のみなさまへ

このたびは、洞爺湖応援ツアーをご企画、ご参加くださり誠にありがとうございます。

胆振東部地震による観光産業の落ち込みも、少しずつ回復のきざしを得ておりますが、依然きびしい状況であります。

今回の皆さまのご訪問により、町民一同、大変な元気を頂いたことに感謝を申し上げますとともに、半世紀以上にわたり築いてきた交流の絆の深さを改めて感じております。

皆さまの支援をしっかりと受け止め、にぎわいのある洞爺湖となるよう頑張っまいります。

平成30年12月18日

洞爺湖町長 眞屋 敏春



トイプードルのココくん

湯本地区 山下さん

## 我が家の自慢

### 人間大好き、動物大好き、 散歩大好きなわんこです。

次号以降に掲載するペットを募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっている動物の名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送または下記にEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載)

web\_gikai@town.hakone.kanagawa.jp

なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。

## 3月定例会の日程(予定)

**2月20日(水)、3月1日(金)、4日(月)、  
6日(水)、7日(木)、14日(木)、15日(金)**

※2月13日(水)開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。詳しくは、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

～ 皆さまのお越しをお待ちしています ～

	委員	副委員長	委員	広報広聴委員会
	員	長	長	
折橋 尚道	村野由紀子	勝俣 剛一	勝俣 公好	川口 延明
				稲葉親太郎